

第11回持続可能なアジア太平洋に関する国際フォーラム【ISAP2019】

「包摂的な転換(トランジション): 地域循環共生圏の実現に向けたマルチステークホルダーの協力」開催

公益財団法人地球環境戦略研究機関(IGES)と国連大学サステイナビリティ高等研究所(UNU-IAS)は、2019年7月30日(火)と31日(水)、パシフィコ横浜アネックスホールにて第11回持続可能なアジア太平洋に関する国際フォーラム【ISAP2019】を開催いたします。

ISAPでは例年、10を超える国際機関、先進国や途上国の第一線の研究者、政策実務者、また自治体やビジネス等のステークホルダーをお招きし、様々なテーマで活発な議論を繰り広げています。持続可能な社会の構築に向けた、国際的な議論と対応策に関する最新動向を把握し、今後の行方を読み解くヒントとして、ぜひこの機会をご活用ください。

2015年、国際社会はパリ協定と、持続可能な開発目標(SDGs)を含む持続可能な開発のための2030アジェンダを採択し、地球規模の課題に一丸となって取り組むことに合意しました。それから3年が経過し、現在世界中で様々な取り組みが進められていますが、私たちは果たしてこれらの課題を克服できるのでしょうか。

2018年10月に公表された「IPCC 1.5°C特別報告書」は、脱炭素社会の必要性を説き、特別報告書に書かれているような大幅削減を達成するには、社会、経済、エネルギーシステムの大転換が不可避であるとしています。また、昨年末に行われた国連気候変動枠組条約(UNFCCC)COP24の閉会挨拶にて、パトリシア・エスピノサ UNFCCC 事務局長は、「気候変動に打ち克つために、我々が意欲を高めていく必要があることを科学は明確に示している」と述べました。つまり、私たちは今岐路にあり、脱炭素社会への転換に向けて様々な取り組みを加速しつつ、同時にこうした転換ができるだけ円滑に進んでいくような目配りをしていく必要があります。

2日間のセッションでは、IGESとUNU-IAS双方の研究活動を紹介するとともに、こうした包摂的な転換とは何かを具体的な行動と科学的なアプローチの両面から議論します。

詳細はISAP2019ホームページ(<https://isap.iges.or.jp/2019/jp/index.html>)をご覧ください。

【ISAP2019 全体テーマ】

「包摂的な転換(トランジション): 地域循環共生圏の実現に向けたマルチステークホルダーの協力」

【内容】

1. 気候変動とSDGsの関連性、特に社会と環境に関する目標を念頭に、また、「IPCC 1.5°C特別報告書」や、気候変動とその他の社会関連目標に焦点を当てたHLPF2019のキーメッセージを掘り下げる形で、包摂的な転換(トランジション)について議論します。
2. 包摂的な転換(トランジション)に関する行動志向型の取り組みと、科学的アプローチの双方を取り扱います。これらには以下の内容を含みます。
 - 日本における「地域循環共生圏」構想など、分野横断型アプローチによる、マルチステークホルダーによる地域レベル、および地方レベルでの変革を進めていく取り組みの紹介。

- 気候変動と SDGs との相乗効果、またトレードオフを、より包括的かつ効果的な形でどのように調整していくべきかについての科学的な根拠の提供。

【ISAP2019 開催概要】

日 時： 2019 年 7 月 30 日(火)、31 日(水)

会 場： パシフィコ横浜 アネックスホール <http://www.pacifico.co.jp/visitor/accessmap.html>

主 催： 公益財団法人地球環境戦略研究機関(IGES)
国連大学サステナビリティ高等研究所(UNU-IAS)

言 語： 日本語／英語（同時通訳付き）

参 加 費： 無料

申込方法： IGES お申込みサイト (<https://isap.iges.or.jp/2019/jp/index.html>) よりお申込みください。

※申し込みは 6 月 19 日(水)開始の予定です

持続可能なアジア太平洋に関する国際フォーラム(ISAP)について

持続可能なアジア太平洋に関する国際フォーラム(International Forum for Sustainable Asia and the Pacific: ISAP)は、第一線で活躍する専門家、国際機関、政府、企業、NGO 関係者が集い、アジア太平洋の持続可能な開発に関する多様な議論を行う場です。主催機関である(公財)地球環境戦略研究機関(IGES)および国連大学サステナビリティ高等研究所(UNU-IAS)が関与している国際的なネットワークと協力しつつ、関係者間の情報共有の促進や連携強化を図ることを目的として、毎年、日本で開催しています。これまでの ISAP については、フォーラムウェブサイトをご参照ください。

ISAP ウェブサイト： www.iges.or.jp/isap/2019

公益財団法人地球環境戦略研究機関(IGES: Institute for Global Environmental Strategies)について

IGES は、地球規模、特にアジア太平洋地域における持続可能な開発の実現に向け、国際機関、各国政府、地方自治体、研究機関、企業、NGO 等と連携し、気候変動、自然資源管理、持続可能な消費と生産、グリーン経済などの分野において実践的な政策研究を幅広く行っています。1998 年、日本政府及び神奈川県との支援により設立。本部は神奈川県葉山町に所在し、約 100 名の研究者を擁し、その約 3 分の 1 は外国籍です。関西(兵庫県)、北九州、北京、バンコク、東京の各センター・事務所と共に、グローバル及びアジア太平洋地域のネットワークを生かした戦略研究を展開しています。

国連大学サステナビリティ高等研究所(UNU-IAS)について

UNU-IAS は、サステナビリティとその社会的・経済的・環境的側面に注目しながら、政策志向型の研究と能力開発を通じて、持続可能な未来の構築に貢献することを使命とする研究・教育機関です。UNU-IAS の活動には、「持続可能な社会」、「自然資本と生物多様性」、「地球環境の変化とレジリエンス」という 3 つのテーマがあります。また、国連システムの優先課題に取組み、国連における政策決定や議論に貢献することで、国際社会に奉仕しています。本部は東京で、石川県金沢市にいしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット(OUIK)を置いています。

【このプレスリリースに関するお問い合わせ】

公益財団法人 地球環境戦略研究機関 (IGES) 広報担当： 庄(しょう)

[Tel: 046-855-3845](tel:046-855-3845) Email: iges_pr@iges.or.jp <http://www.iges.or.jp/>

国連大学サステナビリティ高等研究所(UNU-IAS) 広報

[Tel: 03-5467-1212](tel:03-5467-1212) Email: iascomms@unu.edu <http://ias.unu.edu/jp/>